

2017年3月期 第2四半期(累計)
(2016年4月1日～2016年9月30日)

決算参考資料

2016年11月10日



東証・名証1部上場 コード:9900

設立:1970年3月

資本金:71億7810万円



目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2017年3月期 第2四半期(累計)の 業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2017年3月期 第2四半期(累計)の 業績・取り組みについて	—————	P7
6. 2017年3月期の通期業績予想	—————	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は10社であります。

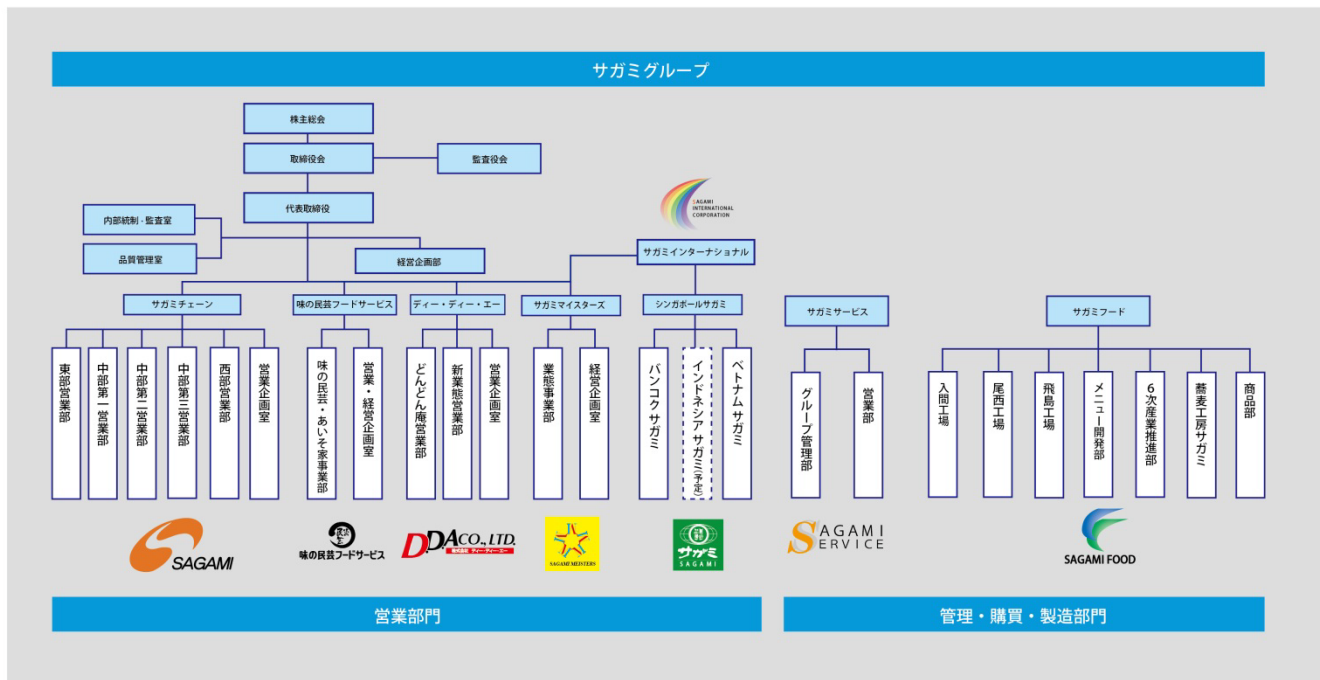
[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマスターズ	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	100.00%	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務 不動産賃貸業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	3,500,000米ドル	100.00%	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	投資事業
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	2,500,000,000ドン	100.00%	飲食店の経営

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日
VIETNAM SAGAMI JSC	----2016年01月11日

○ サガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態を経営しております。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・エーは、主にどんどん庵業態、製麺大学業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマイスターズは、主に水山業態、JINJIN業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミサービスは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行います。

2. 店舗展開の状況

	2016年 3月期	2017年3月期 第2四半期			2017年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	129	3	—	132	3	—	132
さがみ庭 (SC店)	2	—	1	1	—	1	1
さがみ庭 (高級業態)	1	1	—	2	1	—	2
盛賀美	1	—	—	1	—	—	1
さがみ	1	—	—	1	—	—	1
濱町	5	—	3	2	—	2	3
サガミ 健やか食堂	0	1	—	1	1	—	1
味の民芸 (FC店舗含む)	56	—	1	55	—	1	55
あいそ家	9	—	—	9	—	—	9
あいそ家 Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
どんどん庵	33	—	2	31	2	1	34
どんどん庵 (どん呑み対応店)	3	1	—	4	—	—	3
かつたに	0	1	—	1	1	—	1
まるど食堂	1	—	—	1	—	—	1
鹿山食堂	1	—	1	0	—	1	0
製麵大学	4	—	—	4	—	—	4
水山 (FC店舗含む)	5	—	—	5	2	—	7
びんむぎ	1	—	—	1	—	—	1
JIN JIN	2	—	—	2	—	—	2
Dela PASTA Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
ASIAN LEAF	1	—	1	0	—	1	0
サガミ村	1	—	—	1	—	—	1
陣屋サガミ	1	—	—	1	—	—	1
フランチャイジー店舗	2	—	—	2	—	—	2
海外 上海	2	—	—	2	—	—	2
海外 タイ	3	—	—	3	—	—	3
海外 インドネシア	2	—	1	1	—	—	2
海外 ベトナム	0	2	—	2	2	—	2
合計	268	9	10	267	12	7	273

*業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

*海外店舗は、第2四半期(累計)における業績数値反映期間を2016年1~6月期としておりますが、

店舗数等の説明に関しましては、国内の第2四半期(累計)期間に合わせ、2016年4~9月期の状況にて記載しております。

○ 業態毎の店舗展開について

<国内>

◆ 和食麵処サガミ業態

2016年5月に「濱町 厚木文化会館前店」を「和食麵処サガミ 厚木文化会館前店」に、
2016年6月に「濱町 座間店」を「和食麵処サガミ 座間店」に、
2016年9月に「濱町 金沢文庫店」を「和食麵処サガミ 金沢文庫店」に業態転換いたしました。
転換店舗の業績は良好に推移しております。
これにより和食麵処サガミ業態の店舗数は、132店舗となりました。

◆ 味の民芸業態

2016年5月に「味の民芸 新宿フロントタワー店」を閉店いたしました。
これにより味の民芸業態の店舗数は、FC店舗を含め55店舗となりました。

◆ あいそ家業態

当期間での店舗数の増減はありません。
なお、あいそ家業態の店舗数はあいそ家 Kitchen業態を含め10店舗であります。

◆ どんどん庵業態

2016年7月に「どんどん庵 尾西店」を「かつたに 一宮尾西店」に、
「どんどん庵 桜通大津店」をどん呑み対応店に転換いたしました。
これによりどんどん庵業態の店舗数は、どん呑み対応店を含め35店舗となりました。

◆ さがみ庭業態

2016年7月に名古屋駅前に高級業態である「さがみ庭 キャッスルプラザ店」を開店いたしました。
これによりさがみ庭業態の店舗数は、2店舗となりました。

◆ 健やか食堂業態

2016年4月に健康都市を標榜する愛知県大府市の市役所に「サガミ 健やか食堂」を
開店いたしました。女性管理栄養士考案によるメニューや一汁三菜メニューなどを導入しており、
健康価値の高いメニューを提供してまいります。

◆ その他業態

2016年4月にショッピングモール業態である「さがみ庭 イオンモール名古屋茶屋店」を、
2016年6月に「鹿山食堂」「ASIAN LEAF」を閉店いたしました。

国内業態におきまして、上記以外の店舗数増減はありません。

<海外>

◆ ベトナム

2016年7月に、ベトナムに新設された「高島屋 ホーチミン店」の地下2階に「水山」「JINJIN」を
各1店舗開店いたしました。これによりベトナムの店舗数は2店舗となりました。

◆ インドネシア

2016年7月に、インドネシアの「Plaza Senayan」に出店していた「サガミ SAGAMI」を
閉店いたしました。これによりインドネシアの店舗数は1店舗となりました。

以上により、2016年9月末のサガミグループ店舗数は267店舗であります。

* 海外店舗は、第2四半期（累計）における業績数値反映期間を2016年1～6月期としておりますが、
店舗数等の説明に関しましては、国内の第2四半期（累計）期間に合わせ、2016年4～9月期の状況にて記載しております。

3. 2017年3月期 第2四半期(累計)の業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2016年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 第2四半期(累計)	2017年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 差異
売上高	13,079	13,100	13,104	4
営業利益	595	440	561	121
経常利益	624	455	594	139
当期純利益	388	270	426	156
一株あたり 当期純利益	14.67	10.19	16.11	5.92

*当初計画とは、2016年 5月11日に発表した通期計画です。

*第2四半期(累計)予想数値は、2016年11月7日に業績上方修正を行ないました。

○ 前期との比較について

主力業態「和食麺処サガミ」の同期間の既存店推移

	2016年3月期 第2四半期(累計)	2017年3月期 第2四半期(累計)	前年比
売上高	8,308百万円	8,403百万円	101.1%
客数	6,829千人	6,712千人	98.2%

4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%)	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	18,852	18,244
純資産	13,390	13,485
自己資本比率	71.0	73.9

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2016年3月期 第2四半期 (累計)	2017年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	307	591
投資活動によるキャッシュフロー	△469	△317
財務活動によるキャッシュフロー	679	△696

○ 設備投資について

連結設備投資は404百万円(2016年3月期 第2四半期累計実績 410百万円)となりました。

○ 減価償却費について

減価償却費は260百万円(2016年3月期 第2四半期累計実績 243百万円)となりました。

5. 2017年3月期 第2四半期(累計)の業績・取り組みについて

○ 2017年3月期 第2四半期(累計)の業績について

◆ 主力業態「和食麵処サガミ」の業績について

2017年3月期第2四半期(累計)につきましては、季節限定メニューがお客様の評価を受けたことにより客単価が上昇し、売上が好調に推移いたしました。
また、お持ち帰りメニューの販売強化も客単価の上昇に貢献いたしました。

◆ 「味の民芸」の業績について

既存店における売上高前年比が31ヵ月連続(2016年9月時点)で前年を上回るなど、売上・客数ともに非常に好調に推移しました。
以前は長期間低迷が続いた業態ですが、グループ化以降に改善を進めたことにより、利益面における貢献度も上昇しております。

◆ 利益数値について

既存主力業態が好調に推移した他、後方部門の統合や商物流におけるグループシナジーの創出が寄与し、2016年11月7日に連結・単体数値共に当初の予定を上回る見通しとなり、業績上方修正を行いました。

○ 2017年3月期 第2四半期(累計)の主な取り組みについて

◆ 健康メニューへの取り組み

健康志向の高まりを受け、和食麵処サガミ業態では、2016年4月6日に改訂したグランドメニューにて、『減塩みそ煮込』を導入いたしました。
当社は、The Healty-menu Companyを標榜しており、主力商品であるそば自体も健康価値が高いメニューではありますが、高まるお客様の需要に対応すべく、カロリー制限メニューやリン・カリウム制限メニューも現在、投入しております。
引き続き、健康価値に優れたメニューの開発に取り組んでまいります。

◆ 夏の大感謝祭の開催

和食麵処サガミ業態では、2016年7月14日より『夏の大感謝祭』を実施いたしました。
期間限定商品を販売した第1弾、そばが食べ放題となる第2弾、クーポンプレゼント企画である第3弾と連続開催し、非常に多くのお客様にご利用いただきました。

◆ 手延べうどん食べ放題の開催

味の民芸業態では、2016年8月25日より1週間にわたり『手延べうどん食べ放題フェア』を実施いたしました。同業態の主力商品である手延べうどんの美味しさを訴求した人気企画であり、新聞折込の効果もあって客数増に大きく貢献する結果となりました。

◆ ミラノテストマーケティングの実施

2015年に開催されたミラノ万博での盛況を受け、2016年4月12日から5月30日まで、イタリアのミラノ市内にある和食レストランにて、そばとなごやめしのテスト販売を実施いたしました。
想定を上回る反響があり、重点出店地域と位置付けているASEAN諸国に加え、欧州での出店についても更なる検討を進めてまいります。



『手延べうどん食べ放題フェア』ポスター



『夏の大感謝祭』第1弾 販売商品
「夏のお祭り和膳」



ミラノテストマーケティング店舗 店内

6. 2017年3月期の業績予想

○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2016年 3月期	2017年 3月期
売上高	25,887	26,000
営業利益	876	900
経常利益	915	950
当期純利益	513	550

○ 単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2016年 3月期	2017年 3月期
売上高	16,734	17,200
経常利益	852	870
当期純利益	496	510

○ 2017年3月期について

◆ 新中期経営計画

本年は中期経営計画『ローリングプラン2018』を策定いたしました。
「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」の基本戦略に基づき、
各種施策に取り組んでおります。
ビジョン“No.1 Noodle Restaurant Company”の実現に向け、総力を結集し邁進してまいります。

◆ 組織体制

事業会社の機能と役割を明確化し、各事業の拡大を進めております。
本年は新規出店を推進するため、立地開発部門の人員体制を拡充した他、
メニュー開発部門をサガミフードに集約し、より魅力あるメニュー開発に取り組んでおります。

◆ 新たなインバウンド対応

2016年4月に、愛知県飛島村にそば打ち体験施設「蕎麦工房」を開設いたしました。
高まる「コト需要」に対応することにより、インバウンド集客を更に進めてまいります。

◆ デリバリー事業の推進

高齢化社会が年々進行する中、デリバリー事業への取り組みは重要性が増しております。
2017年3月期は、対応店舗を8店舗増やし、グループ内21店舗での展開を見込んでおります。

◆ 出店重点地域

国内においては、今後も人口の増加が予測されている関東圏および中部圏を、
海外においては、著しく経済が発展しているASEAN地域を最重要地域と位置付け、
展開を進めてまいります。

◆ 伊勢志摩サミットへの出展

2016年5月25日から27日まで、伊勢志摩サミット国際メディアセンターに併設された
フードコートにて各国のメディア関係者にそば・伊勢うどん・天ぷらを提供いたしました。
ミラノ万博に続いての世界的なイベント参加となり、日本および地域の食文化を発信してまいりました。

◆ 株主優待制度の拡充

2016年9月30日の権利確定日より、株主優待制度を拡充いたしました。
新たに、100株以上1,000株未満保有の株主様に20%割引券を贈呈することといたしました。
※一部業態においては、20%割引では無く、お一人様100円割引(1枚につき4名様まで有効)にて
対応いたしております。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、
今後様々な要因により当初予想数値と異なる可能性があり、毎年見直してまいります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet: Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヵ月間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャー ポリシーを周知徹底し遵守いたします。